



6月の園だより

令和5年6月1日

目黒区立八雲保育園 園長

～気持ちが動くとき～

色とりどりのあじさいが、きれいに色づき始める季節となりました。

新しい環境に慣れてきた小さいクラスの子どもたちも、園外へ散歩に出かけ始めています。2歳児は緑道へ散歩に出かける途中にいくつかのお楽しみポイントがあり「くまさん、いってきます」「おばけかぼちゃいた」「ワンワン、バイバイ」と笑顔がたくさん見られます。前日に雨が降ったあとには、足もとが滑りやすくなりますが「おととと」と体を踏ん張ったりバランスをとりながら歩くことで、自然と体づくりにも繋がっていきます。散歩先では2人の児が頭を近づけ地面をじっと見ながら「がんばれ～」と言っていたので「何を応援しているの」と同じ視線にすると、ダンゴムシをたくさん見つけたところでした。保育士が「あれ、卵かな。お腹が白いよ」と話すと「ほんとだ」「男の子かな、女の子かな」と興味津々です。ドキドキしながらやっと小さな手のひらにダンゴムシをのせてもすぐに丸くなり、ころころと落ちてしまいます。しかし子どもたちの中には「いたいた」と“見つける名人”もいてくれるので安心です。1人の児がなかなか触れられずにいたので「一緒につかまえてみる」と誘ってみました。何かを考えるようにじっとしていました。たくさん捕まえたダンゴムシは「保育園の庭にダンゴムシのお家をつくろう」とみんなで話し持ち帰りました。翌日、庭へ行くと「ねえねえ」と話しかけてくる児がいて「見て」と大切そうに容器に入れたダンゴムシを見せてくれました。昨日は触れなかったけれど、今日は捕まえることができた嬉しさを教えてくれたのだと感じました。これからも、子どもたちが“やってみたい”と思えた時にそれを叶えられる環境をつくっていきたいと思います。



6月の行事予定

納涼会

身体計測 避難訓練

検診予定

内科検診（全園児）

歯科検診（全園児）

眼科検診（全園児）

耳鼻科検診（3.4.5歳）

7月の行事予定

プール開き

七夕

身体計測 避難訓練

夏を元気に過ごすために ～調理室より～

夏の食事は水分をしっかりと補給し、食べることが大切なので、食材の選び方も工夫が必要です。例えばお酢には酢酸（体内でクエン酸に変化）が豊富に含まれています。昔から「疲れている時はお酢を飲むと元気になる」と聞きますが、クエン酸は元気に過ごすために欠かせません。レモンや梅干しなどでも摂れます。

おかずには疲労回復の効果があるビタミンB1を多く含む食品を選ぶようにします。また、水分補給は大切ですが、飲み過ぎは胃酸が薄くなり消化が悪くなります。食事水分補給の一部と捉え、食事に汁ものを取り入れましょう。栄養と水分が摂れるので体への負担も減ります。

★ビタミンB群が多い食材★



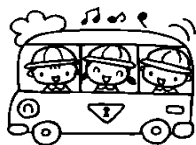
楽しい活動～幼児クラス～

ぺんぎん組（3歳児クラス）

～食育活動 おいしいパプリカができますように～

昨年は夏野菜でピーマンを育てましたが、今年はパプリカを栽培します。子どもたちに「ピーマン（パプリカ）の赤ちゃんが来たから植えに行こう」と言うと「やったあ、やりたい」と張り切っています。「これが赤ちゃんだよ」と苗を見せると身を乗り出しながら「あっ、お花があるよ」「まだピーマンはないね」と観察し「分かった。花が大きくなるとピーマンになるんじゃない」と一生懸命考えて話しています。じょうろで水をあげるときは「大きくなってね」と、苗に声をかけている子どももいました。

先日、雨が降り保育士が何気なく「お庭に行けないね」と話すと、ある児が「でも、ピーマンの赤ちゃんは喜んでいるよ。だってピーマンはお水で大きくなるから」と言いながら苗のことを思い出していました。今後も子どもたちと一緒に苗の水やりなど世話や観察をしていくことで、野菜の生長に気付いたり収穫の喜びを感じ、食に対しての興味が育つように働きかけていきます。



いるか組（4歳児クラス）

～シロテナガザルとの出会いから～

子どもたちは大型バスを目の前にし「大きいバスだね。きっと動物園まですぐ着いちゃうよね」と友達と顔を見合わせながらバスの大きさに目を丸くする姿からも、期待の高まりが伝わってきます。動物園では、シロテナガザルが木から木へと移動していたのですが、木から降りて座る時にはなぜか金網フェンスに背を向けるため顔が見えません。そこで、サルの名前を呼んでみると、指しゃぶりをしながらクルリと振り向いてくれました。子どもたちは「あ、こっち向いた」「指舐めてるよ、かわいい」と大喜びしています。「もう一回呼んでみよう。せーの」と何度も繰り返された楽しいやりとりは、まるで子どもたちとサルで行われている『だるまさんがころんだ』のようでした。保育園に帰ってきてからも図鑑を開いては遠足で出会った動物を見つけ絵に描いたり、積み木や動物人形を組み合わせて動物園を作ったりと日々の遊びにも繋がっています。

しろくま組（5歳児クラス）

～カンガルークイズの答え合わせ～

金沢動物園までのバスの中で動物クイズをしました。クイズの1つに“カンガルーはどうやって草を食べるか”というものがありません。横になって草を食べるとするのが正解でした。動物園に着き、実際にカンガルーを見に行くと、子どもたちは食べ方や歩き方を興味深く観察しています。「本当に寝て食べているね」と言いながら納得していました。後日、金沢動物園のパンフレットや図鑑を使ってカンガルーや他の動物のことを調べていた子どもが「寝ないで食べるカンガルーもいるみたい」など友達や保育士に教えてくれていました。色々な事に興味を持ちながら自分で調べたり、確認する子どもたちの姿も見られます。これからもたくさんのお発見や学びを楽しんでいきたいと思えます。

